

令和4年度 井野まちづくりセンターの主な取組

事業名

日常における生命の危険を回避する事業

P

●事業実施に至った背景、目的

救急搬送時に受診状況や緊急連絡先などの情報把握が求められる。同居世帯が少なくなり、高齢者だけの独居世帯が多くなったため、緊急時に必要な情報を一定の場所に置く取組として、まちづくりセンターと地区まちづくり推進委員会が協力して事業をすることになった。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

まちづくり防災部会において実施に向けて会議（令和4年4月～9月 4回）
 浜田市社会福祉協議会三隅支所、三隅地区民生児童委員協議会と協議
 救急医療情報シートについては浜田消防署と協議して最良なシートを作成
 事業実施（令和4年11月）

D

●事業の概要

独居高齢者宅へは、三隅地区民生児童委員が配付し、それ以外の家庭にも配布した。
 各自治会長に依頼して必要な救急情報キット（ボトル）と記載用紙（救急医療情報シート）の枚数を連絡してもらい、各自治会長や福祉委員を通して配布した。
 （ボトルは1世帯1本で196世帯分、シートは家族1人1枚で487人分）
 ※記載用紙は社会福祉協議会三隅支所と相談して三隅地区民生児童委員協議会と同じ用紙に統一した。

C

●事業実施後の振り返り

各自治会長に依頼したが、記載用紙に必要な事項を記入してボトルに入れて保管されているかの確認(保管場所の推奨は冷蔵庫の中)ができていない。

A

●令和5年度以降の方向性

記載用紙（救急医療情報シート）について、都度更新されて常に新しい情報になるよう指導していきたい。
 （医療・介護等の変更時には都度新しい情報を記入いただける様、広報及び関係委員を指導していく）

